

インスリンポンプは

- 携帯電話と同じくらいの大きさ・重さです
- 簡単なボタン操作でインスリンを体内に注入できます
- インスリンの補充は2～3日に一度の注入セット交換に併せて行います
- 血糖値と食事に含まれる炭水化物量を入力すれば、必要なインスリン量を計算してくれます
- 睡眠、運動、旅行など、ライフスタイルによって基礎インスリン量を調節することができます



インスリンポンプ

インスリンポンプ療法について

お問い合わせは当院まで

Medtronic

日本メドトロニック株式会社
ダイアビース事業部
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

DIB1600-01

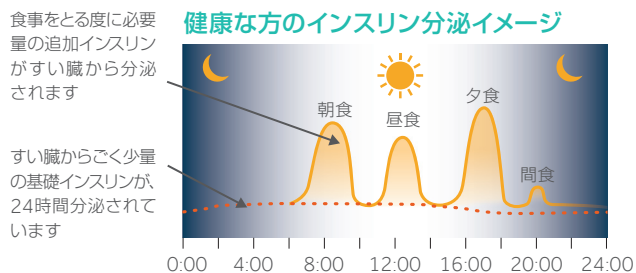
販売名: パラダイム インスリンポンプ
医療機器承認番号: 21700BZY00314000



監修: 順天堂大学内科学・代謝内分泌学
教授: 綿田 裕孝 先生

インスリンポンプ療法とは？

インスリンポンプは携帯電話くらいの大きさ・重さの機器で、インスリンを少量ずつ注入することができます。



インスリンポンプ療法と注射療法の比較

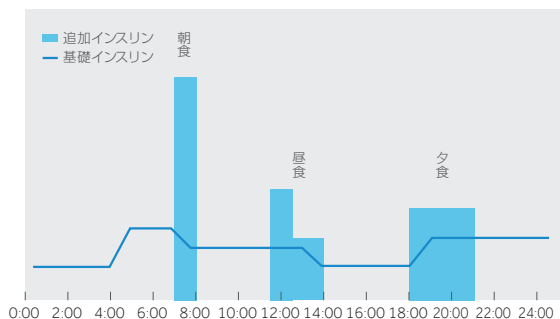
	インスリンポンプ療法	注射療法
インスリン注入方法	ポンプ+注入セット	ペン型注射器+針
インスリンの種類	超速効型	持効型+超速効型 混合型+超速効型 など
注射回数	2日～3日に1回の カニューレ留置	1日に1回～5回

糖尿病の患者さんの中には、インスリンを持続的に身体に注入する必要がある方がいます。インスリンポンプでは、生活スタイルに合わせてインスリンを注入することが可能です。人目を気にして注射をする場所や時間を選んだりする必要がありません。運動や旅行時に基礎インスリンの注入量を一時的に変更することができるなど、様々な場面で調整が可能です。

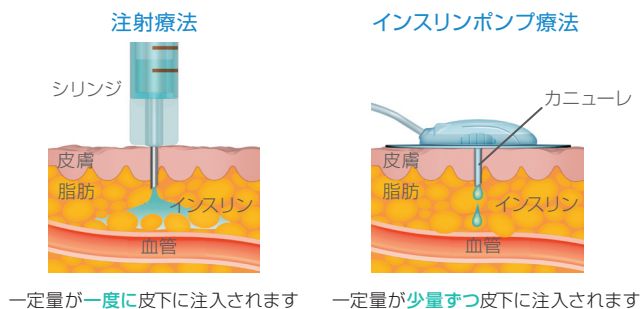


注射療法とどう違うの？

インスリンポンプ療法では、ペン型注射では難しい基礎インスリン量の微調整を30分単位で細かく設定したり、食事の内容により3パターンの注入方法から選択することが可能です。



インスリン注入イメージ



インスリンポンプ療法ではインスリンを少量ずつ投与するため、急に運動に誘われたなど、予定がかわったときに途中で注入を止めたり減らしたりすることが可能です。

ライフスタイルに合わせた治療が可能に！

インスリンポンプ療法では、生活スタイルに合わせてインスリンを注入することができます。このことにより、必要な時に必要なインスリンを注入することで、生活に合わせた治療が期待できます。

食事に合わせたインスリン治療が行えます

カーボカウントサポート機能により
食事時に必要なインスリン量を計算できます

人目を気にせず インスリンの注入 ができます

注射の痛みから 解放されます

針を刺す操作は2～3日に1度で済みます